

Rotel RA-1520

製品の特徴

20 12年10月、国際的なメーカーとして欧州で高く評価されている Rotel から充実したサウンドのプリメインアンプ・バリューモデル RA-1520 が発売されました。実売価格が10万円程度と手の届きやすい価格でどれくらいの音を聞かせてくれるのか？

他車の最新モデルとどのように音色が違うのか？早速試聴機を手配し、その音を聞いてみました。



プリメインアンプ ROTEL RA-1520

定価 128,000 円 (税別)

連続実効出
消費電力
外形寸法、重量
付属品

75W+75W(6Ω)
最大 300W、24W(無信号時)、0.5W(スタンバイ時)
431(W)×99(H)×339(D) mm、7.8Kg
リモコン、電源ケーブル(極性マークなし)

主な特徴

60W×2のAB級プリメインアンプ。きちっとした仕上げを感じるシンプルでデザインの新型プリメインアンプです。中域は柔らかく厚みがあって音楽をボリューム豊かな太い音で鳴らします。一瞬ワウドネ

ススイッチが入っているのかと錯覚するほどのその濃くて太い音はなかなかこのクラスのプリメインアンプでは耳にしません。音質は基本的に明るく、躍動感とパワー感のある好ましいものです。密度感

それほど高くありませんが、音楽を躍動させるツボを押さえたその音は、この価格帯で音楽的に最も充実しています。神経質で薄っぺらな音に飽きたら！このアンプをお試し下さい。



高音質なヘッドホン出力を搭載。バイアンプへと発展可能なプリアウトを搭載。
MM(2.8mV/47kΩ)に対応する、フォノイコライザーアンプを搭載。
自社開発の大型トロイダルトランスを搭載。このクラスのアンプとしては比較的大きめのトロイダルトランスが搭載されています。



強力なパワーを実現する2パラレルプッシュプル回路を採用。
特殊な2パラレルプッシュプル回路を採用し、スピーカーのめまぐるしいインピーダンス変化に対応する強力なドライバリティー能力と150という高いダンピングファクターを実現しています。信号経路も短くなるように配慮されています。



イギリス BHC 社製特殊高音質電解コンデンサーを採用。瞬時の電源供給能力を高めています。



ディスクリート構成の入力アンプを採用。
トランジスターを熱結合して用いる、音の良いスチロールコンデンサーを用いる、バスバー(写真手前)を採用するなど本格的なディスクリート構成の入力アンプを搭載しています。

使用機器

プレーヤー

**AIRBOW
SA15S2/Master
販売価格 250,000 円(税込)**

SA15S2/Master で聴く演奏には、「生よりもほんの少し多い温かさと滑らかさ」が加わります。そのほんの少しの甘さが、JAZZ ボーカルをさらに「ソフトでムーディー」にします。弦楽や交響曲では、多重マイク録音による楽音の混濁感を緩和し、うるさくなりがちなストリングスに「滑らかさと厚み」を与えます。



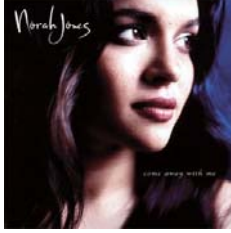
スピーカー **VIENNA-ACOUSTIC BEETHOVEN-CONCERT-GRAND**

艶のある中高音と透明度、切れ味の
良い高音、リッチで包み込まれるよ
うな低音は、交響曲など大編成のク
ラシックはもちろん、小編成の弦楽、
ボーカル、アコースティックな
「POPS」・「JAZZ」・ちょっと古めの
「ROCK」など大人の音楽に最適です。

定価 683,000 円 (税別)



音質テスト



**Come away with me
Norah Jones (CD)**

曲の始めのシンバルの音が奥から鳴り始め、徐々に手前に移動します。その後ウッドベースが柔らかく、圧倒的な厚みで鳴ります。この充実した低音感はプリメインアンプではなかなか味わえないものです。それがこの価格帯で実現しているのですから、恐れ入ります。低音が充実しているので、音場がふわりと大きく広がります。

ギターのアタックはそれほど強烈ではありませんが、サスティンの余韻は長く、響きが部屋を満たし心地よい感じになります。

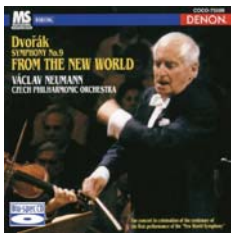
ピアノは音色が美しく、高級な楽器の音の良さが伝わります。

全体的な透明感が高いのですが、真空の中に楽器が浮

かび上がるような「ヘボな定位」ではなく、楽器を取り巻く空気（空間）の振動もきちんと伝わり自然な広がり感と、自然な定位感がライブ感を醸し出します。ノラ・ジョーンズの声は太く、甘く、明るく、そして時々切なく聞こえ、その表現力は十分以上です。

楽器とボーカルの音色の違いの再現性、それぞれの表情の豊かさなど、音楽を音楽として楽しく表現する能力に長けた音質です。

良い意味で個性は感じられませんが、この価格帯のプリメインアンプとしては、圧倒的な中低域の厚みと豊かさ、音楽の表情の豊かさを持っています。音は基本的に明るく、ゆったりとしたイメージでこのアルバムが再現されます。



**From The NEW WORLD
ノイマン指揮・チェコフィル
(CD)**

JAZZ で感じたのと同じように、圧倒的な中低音の厚みが音場を大きく広がります。実際にホールで聴いているのと同じくらいの大きさに音が大きく広がるのは、このクラスのプリメインアンプではなかなか他に類がないでしょう。さすがに細かい音の分解能力が足りないで、バイオリンの弦が個別には聞き取れません。しかし、シンフォニーの全体像の再現性は見事で、少し悪い席で生演奏を聴いているような自然で無理のない音が出ます。第2楽章の日が暮れていくような雰囲気の出し方は素晴らしく、しばし聴き惚れてしまいます。第3楽章では上手くリズムが弾み、躍動的な演奏が繰り広げられます。ティンパニーの量感やエネル

ギー感、厚みは素晴らしく下手なセパレートアンプを上回るでしょう。何よりも空間がストレスなく大きく広がるので、無理をしてシンフォニーを鳴らしている、縮尺されたイメージでシンフォニーを聴いているという窮屈な感じが全くないことが嬉しい部分です。音質は真空管アンプとの類似性を感じさせるほど、全体的に牧歌的で暖かで明るく音楽を聞いていると気分が明るくなってきます。

Vieena Acoustics のスピーカーとのマッチングにも優れ互いの長所を引き出すので、こんな低価格のプリメインアンプで鳴らしていても不満を覚えないのはすごいと思います。音楽的に実によく練られた音です。



**Born This Way
Lady GA GA (CD)**

JAZZ と Classics を聞いて高域は少しドロップしているように思ったのですが、このソフトでは高域はスッキリと最高域まで伸びています。RA-1520 の美点で真空管アンプの様に音が柔らかく響きが多いので、こういった種類のソフトでも高域が塊にならず、気持ちよくほぐれて立体的に広がります。ボーカルはパワー感が十分で、Lady GAGA 特有のパンチがまっすぐに押し出されます。低音は少し膨らみがちですが、不要に膨らむことなく、逆にそのふわりとした広がり響きを心地よく感じます。

Luxman L 507uX でこのソフトを聞いたときにも感じたのですが、最新の POPS を本格的な HiFi ステレオシステムで聞くと音が悪くてがっかりすることがありま

す。それは、それらのソフトがダイナミックレンジの狭い携帯プレーヤーやゼネラルオーディオに合わせて、コンプレッション（圧縮）を強くかけてマスタリングされているからで、歪みが少ないデジタルアンプで再生するとその傾向（音が塊になってうるさい）が強くなりがちです。これらのソフトを楽しく聞くためには、適度な響きを付け加えて空間の広がり演出することが重要ですが、Rotel RA-1520 は Luxman L507uX と同じように低音の豊かな響きと空間の広がり感を見事に演出します。ボーカルの発音も聞き取りやすく全般に音が明るい快活なこのアンプなら、POPS(歌謡曲) 全般を問題なく楽しめると思います。

総合評価

セパレートアンプを聞いた時には、少し音が締まりすぎているように感じられた Rotel の新型アンプですが、今回テストした RA-1520 はそれらと全く違う方向の音質です。低音は量感がたっぷり適度にルーズで弾みながら響きます。ラウドネスがかかっているように錯覚するほどの低音の厚みと中音の厚みと滑らかさは、このクラスのプリメインアンプと

しては出色です。サイズの問題で低音が少なめのスピーカーや小さめの音量で音楽を聞くことが多い方には、このアンプの持つ中低音の豊かな厚みは大きなメリットとなるはずです。エネルギー感も十分に新品の状態（未エージング）で電源を入れた瞬間から、パワフルに音楽が再現される

のも非常に大きなポイントだと思います。躍動的で柔らかく滑らか、明るいその音質でお気に入りの音楽を聞いているととても楽しく、知らない間に心が明るくなっていました。逸品館には、AIRBOW というオリジナルモデルが存在しますが、RA-1520 はそれに匹敵するほどの素晴らしいアンプでした。